

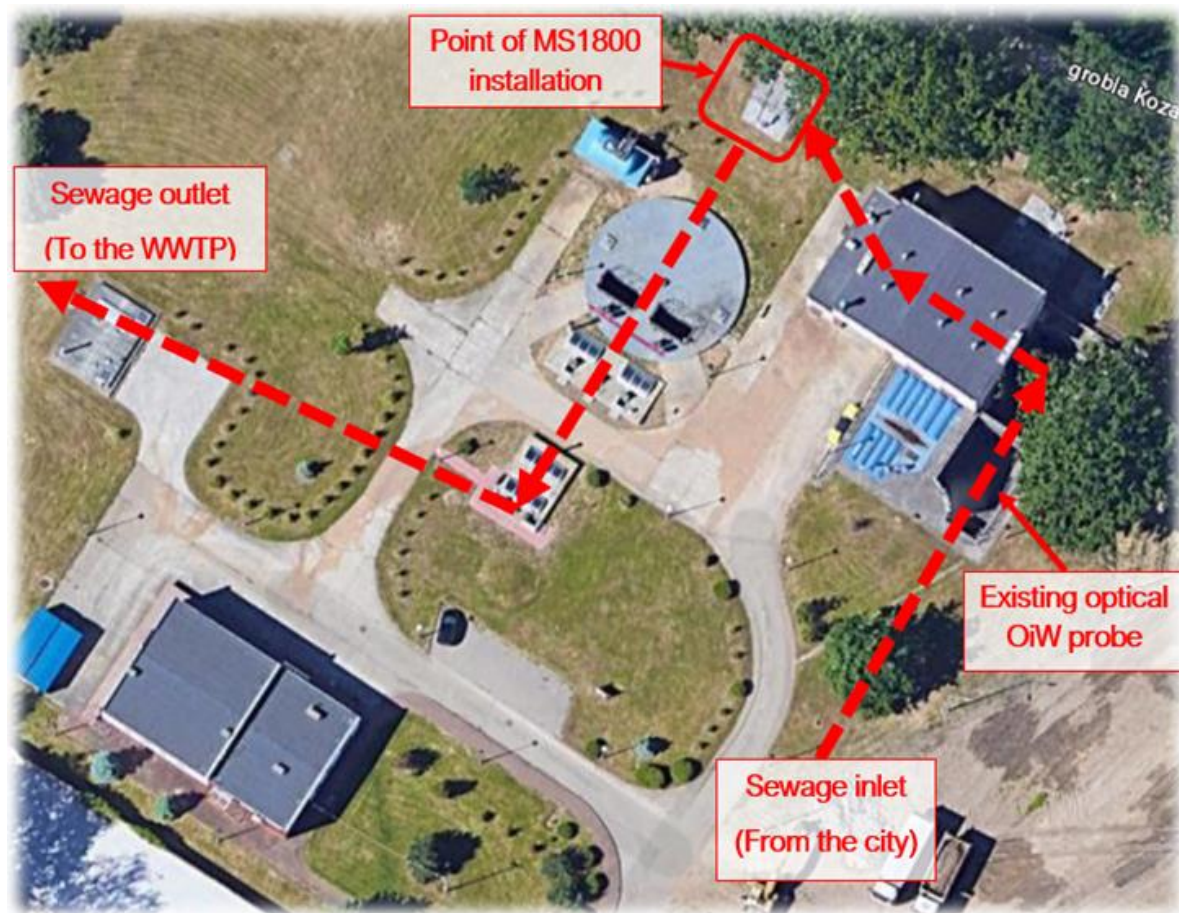


2023年10月16日  
マルチセンサー 代理店会議



代理店販売実績紹介  
アプリケーション例

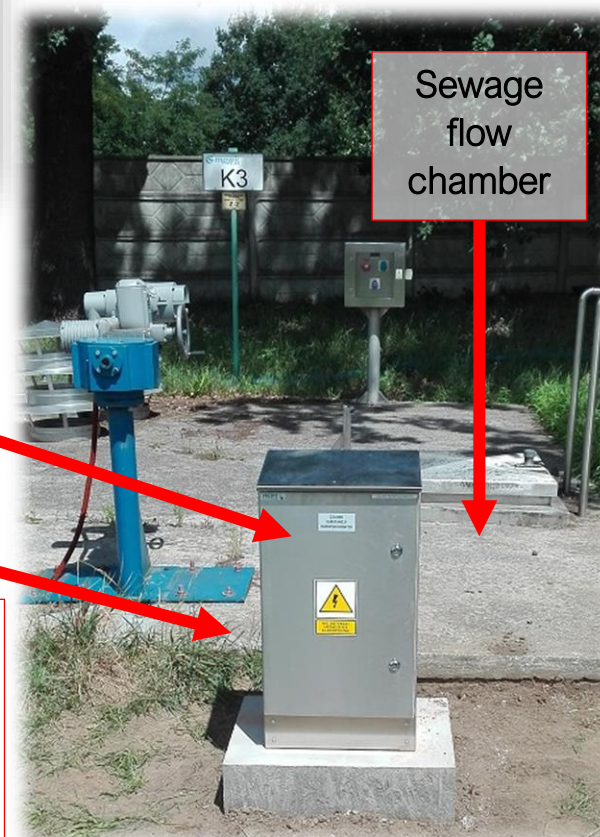
# ポーランドの下水処理場に、MS1800を導入



- 高濃度の炭化水素の汚染が度々起こり、下水処理施設は、対応に困っていた。
- 炭化水素 を確実に検出し、汚染が発生している都市のエリア（発生源ポイント）を特定できるような解決策を探していた。
- MS1800の設置場所を、地下の下水が流れるところをチャンバーとして設置した。



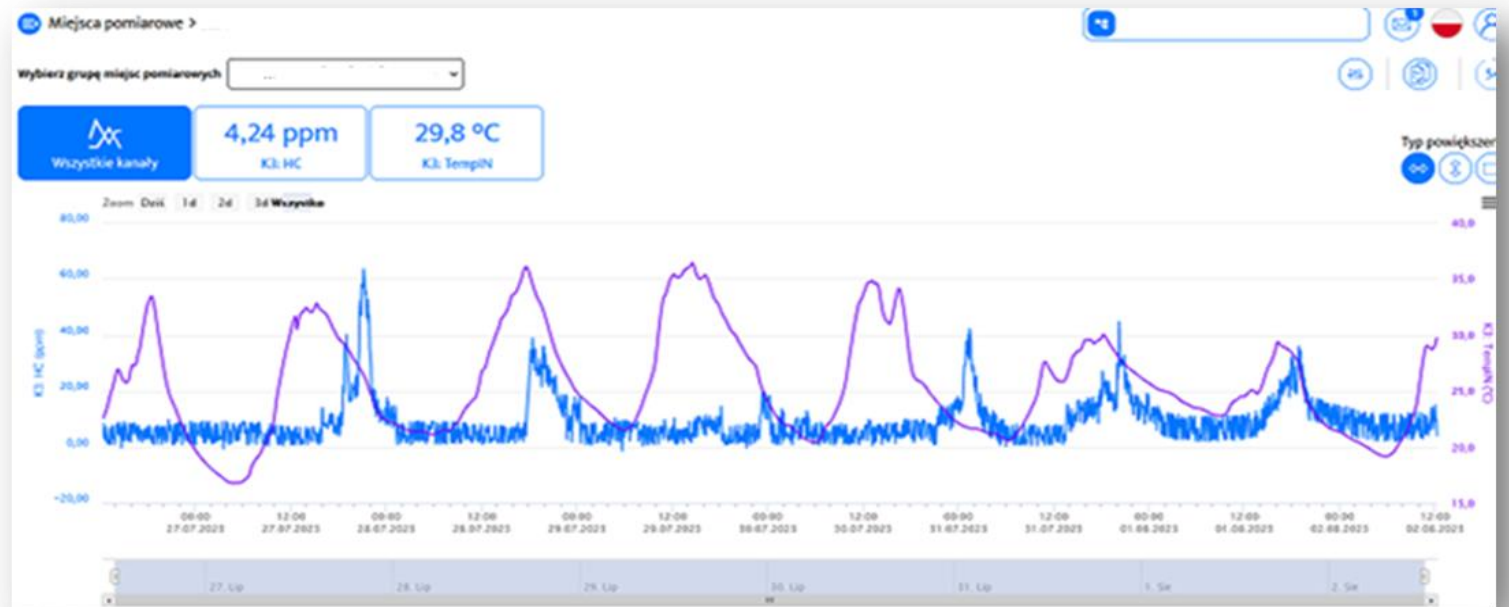
- 保護導管内のサンプル取入口とサンプル取出しホース。
- ・地表から約10cmの深さに埋設



# ポーランドの下水処理場に、MS1800を導入

- ・庫内の温度管理

データロガー及びGSM通信でデータをクラウドにあげる。



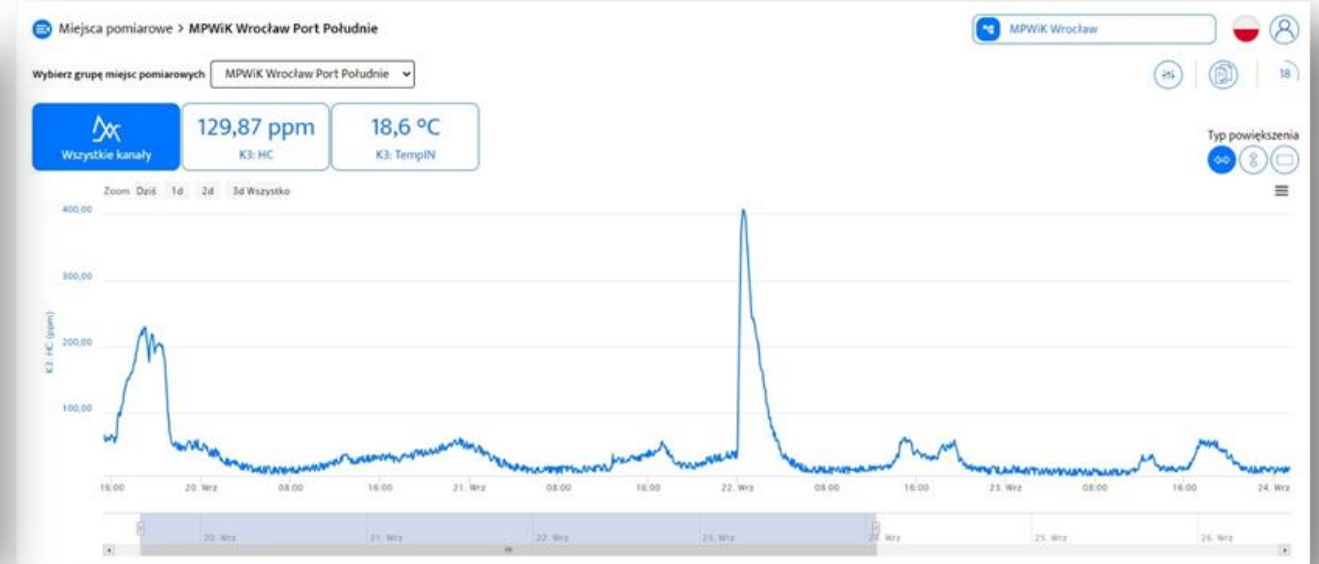
# ポーランドの下水処理場に、MS1800を導入

2022年9月22日23時57分の例

MS1800にて突然の炭化水素の増加が測定された。

下水流中の HC (High Carbon) の視覚的存在が CCTV によって確認された。

都市の主要な下水収集装置の近くで顕著なHCの臭気に関する情報があつた。



# ポーランドの下水処理場に、MS1800を導入 ーまとめー



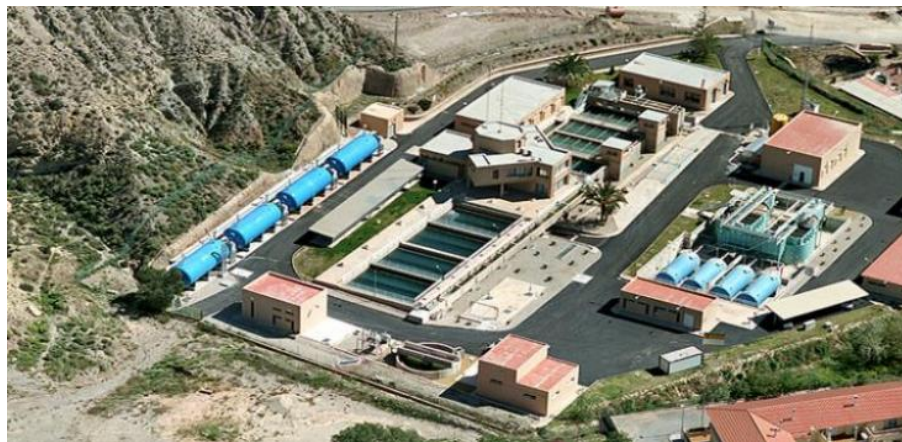
- MS1800 は、このアプリケーションで12ヶ月のトライアルとして使用された。結果として、下水中の炭化水素を繰り返し検出し、その有効性が確認された。
- 非接触測定を使用する分析装置の構造により、連続測定においても、その品質が維持されることが確認された。
- 顧客は満足しており、MS1800は、市全体の下水道網及び下水処理場の油汚染に対する多点監視及び早期警報システムに奨励されている。

# 南スペインの水道水処理施設に、MS2000を導入



- 市に供給する飲料水中に高濃度のトリハロメタン (THM) が含まれるという問題がある。乾燥した地域で、使用する原水には、生物物質が多く含まれていたり、淡水化された水には、高濃度の臭素が含まれており、THMを生成しやすい事が原因である。
- MS2000の導入ポイント
- -設置は、水道水処理施設の出口と市内の飲料水配水管ネットワーク内。
- DWTPは、THM の実験室分析を毎日行っているが、MS2000を使用して分析コストを節約し、15 日に 1 回のみの分析にしたいと考えている。
- さらに、TTHM が 100 ug/l を超えるピークが発生した場合には、アラームを発動する。
- 3ヶ月のトライアルで実施。

# 南スペインの水道水処理施設に、MS2000を導入

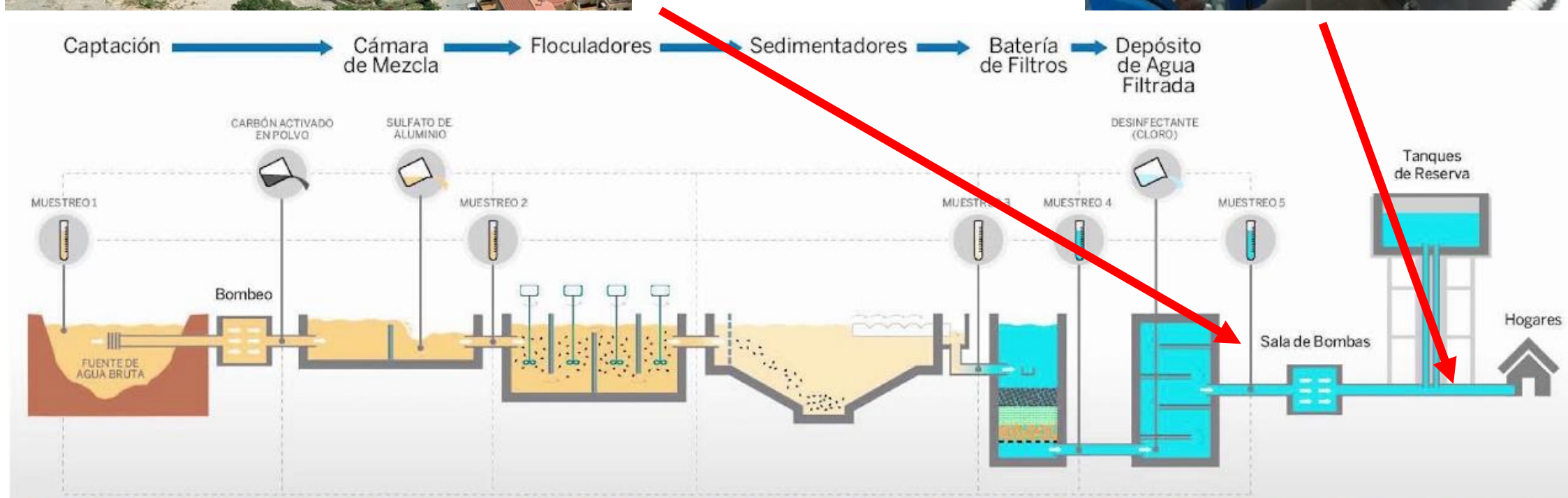


DWTPの出口

と

配水管ネットワーク内

にMS2000を設置



# 南スペインの水道水処理施設に、MS2000を導入



DWTPの出口



配水管



# MS2000 – 結果



データ:

以下のグラフでは、さまざまなテストが実行された時の 4ヶ月間のテストにおける GCMS とマルチセンサー システムの機器の比較が示されている。オンライン測定がラボテストの結果と同じ様な傾向を示していることが確認できる。

THMのピーク:

画面グラフでは、MS2000 によって検出された THM のピークが示されている。

